

その時に抱きとめてくれるひとがいますか

北野武監督作品

A FILM Directed By Takeshi Kitano

BEAT Takeshi KAYOKO KISHI MOTO TO Ren CO SUGI Susumu TERAJIMA

Written by Takeshi KITANO Music by Joe Hisaishi

BANDAI VISUAL, TELEVISION TOKYO CHANNEL 12, TOKYO FM and OFFICE KITANO PRESENTS

第54回ベネチア国際映画祭金獅子賞受賞

ピートたけし 岸本加世子 大杉漣 寺島進

脚本: 北野武 音楽監督: 久石譲

製作: バンダイビジュアル・テレビ東京・TOKYO FM・オフィス北野 配給: オフィス北野・日本ヘラルド映画 プロデューサー: 森昌行・柘植靖司・吉田多喜男

協力プロデューサー: 石川博・古川一博 撮影: 山本英夫 映像: 高屋宣 美術: 堀田典宏 録音: 横内義治 艶影: 北野武・太田義則 記録: 中田秀子 助監督: 清水浩 キャスティング: 吉川威史 製作: 小宮慎二 製作管理: 山崎義人

[URL] <http://www.trans.or.jp/OFFICE-KITANO>

ベネチア発の“KITANO SHOCK”が、トロント、釜山、ロンドン、パリ、ローマ、ニューヨークを経由して日本へ。

「第54回ベネチア国際映画祭の金獅子賞（グランプリ）は『HANA-BI』!この作品を私たちは全員一致で選定した」

……審査委員長ジェーン・カンピオンの講評が、プレスセンターにわき起こる拍手と喝声にかき消されて聞き取れない。

その熱狂を受けて、RAI（イタリア国営テレビ局）が『ソナチネ』を緊急放映し、翌朝の欧米メディアは一斉に絶賛の記事を掲載した。

「キタノ・ショックがベネチアを襲った」（伊・イル・ジオルナーレ紙）、

有力紙コリエレ・デラ・セーラは「最も秀逸。他の作品が受賞したら私はハラカリしただろう」という著名評論家のコメントを載せ、

10分間のスタンディング・オベーションが続いた公式上映の翌朝、

早くも仏・ルモント紙が「金獅子賞確定」とぶちあげた通りの展開となった。

英国からパリへ、イタリアへ、確実に数を増した“キタニスト”（北野武ファン）が、北野武を一つの頂点へ押し上げたのだ。

同時にそれは、日本映画にとって黒沢明が『羅生門』（51）で、稲垣浩が『無法松の一生』（58）で受賞して以来の、

39年ぶり、3人目という快挙が達成された瞬間でもあった。

『HANA-BI』は、この後、トロント、釜山、ロンドン、テサロニキ、ローマ、ベルリン、ニューヨークを巡って、

1998年1月24日、日本に凱旋する。



「引き受けろ」とこと、「ゆだねろ」とこと。

主演はビートたけし。『ソナチネ』以来4年ぶりの主演だが、今回彼が演じる刑事、西はただ走り続けてきた男。そんな彼が突然のこどもの死や不治の病に冒されていく妻（岸本加世子）を目の当たりにしてふと立ち止まると、走ることの意味さえわからなくなっている自分に気付く。彼の心のうちで、少しずつ高まっていた苛立ちを爆発させた「発火点」は、同僚、堀部（大杉漣）の事故だった。堀部の好意に甘えて西が妻を病院に見舞ったその日に、堀部は殺人犯の統撃を受けてしまったのだ……近しい者が次々に奪われていき、どれにも自分が深く関わっていることに西の心はさいなまれる。一命を取り止めながら車椅子の生活を送る堀部も、犯人との統撃戦で盾となって殉職した部下も、自分の身代わりとなつたのだ。生きる喜びを絵を描くことに見い出した堀部に画材を送るために、部下の妻を援助するために、そして妻との残り少ない生活を共にするために、西はヤクザから金を借りることになる。

西と妻を中心に積み重ねられて行く寡黙なシーンが、青い海と白い砂浜のエンディングに集約されて行く。愛する者のすべてを、生も死も、すべてをひっくるめて引き受けることを決意した男と、そんな男を信じて、自分をゆだねることを心決めた女……ラストの「たったふたことのせりふ」が心に刻みつけられる。

「キタノ・ブルー」と引き立てる久石譲のアコースティックな音楽。

歐米のジャーナリストが、演出と並べて口々に称えたのは「キタノ・ブルー」の色調。その透明感を支え、タイトルに込められた「生と死」のテーマを引き立てるのが久石譲の音楽だ。繊細で叙情詩のようなメロディをアコースティックなサウンドで、映像とのコラボレーションを見事に実現している（サントラ盤はポリドールから98年1月発売予定）。

監督・脚本・編集・挿入画：北野武 音楽監督：久石譲（ポリドール） 出演：ビートたけし・岸本加世子・大杉漣・寺島進

98年1月24日(土)より 待望のロードショー！

前売鑑賞券好評発売中！

一般￥1,500(当日一般￥1,800の処)

チケットぴあ、ローソン、市内主要プレイガイドにて発売中

梅田スカイビルタワーイースト4F 06-440-5977

梅田 ガーデンシネマ

10:20 12:25 2:30 4:35 6:40 8:45

アメリカ村 Big step 4F 06- - - - 1460

心斎橋 パラダイスシネマ

10:20 12:25 2:30 4:35 6:40 8:45

※パラダイスシネマは2/17、2/18は休館日